

本多静六 ぼたろく 林政學・造園學者、林學博士。慶應二年七月一日武藏國生れ、昭和二十七年一月二十九日没（八六一―九五二）。舊姓折原。東京山林學校を經て東京農林學校林學科卒、明治二十二年ドイツに渡りミエンヘン大學卒。二十三年東京帝國大學教授。日本庭園協會、日本造園學會を創設した他、比谷公園、明治神宮寺多々の公園、庭園を設計した。

著書に『増訂林政學』（明治二十六年十月八日博文館）、『大日本老樹名木誌』（大正二年十二月）二十二年大日本山林會）、『珍談奇談集』

（合著、昭和八年十一月十六日大日本雄辯會講談社「キング文庫」）、『幸福なる生活』（昭和十六年十月四日主婦と友社）、『耐乏生活の

實踐』（昭和十九年四月）二十日教育科學社）、『若き日の軌跡―私の學生の頃第1集』（合著・學生書房編集部編、昭和二十二年四月）二十

日學生書房）、『人生百二十（健康長壽法）』（昭和二十五年一月）二十一日佐竹書房）、『幸福橋成功処世の秘訣』（昭和二十五年二月）二十一日中田書店）、『私の体験成功法』（昭和二十八年八月十五日高風館）、

『私の生活流儀』（昭和二十六年十月十日実業文日本社）、『穴のしみ

を創る生活』（昭和二十六年十一月）十五日高風館）、『本多静六体験八

十五年』（昭和二十七年一月十五日

大日本雄辯會講

談社）等。武田止二著『本多静六伝』（昭和二十

二年十一月十日埼玉・埼玉県文化会館）刊。

